

## 広島県経済財政会議（テーマ別懇談会） 議事要旨

- 開催日時：平成26年7月10日（木） 14:00～16:00
- 開催場所：広島県庁北館2階 第2会議室
- 出席者：（主宰）湯崎 英彦 広島県知事  
（委員）戸堂 康之 早稲田大学政治経済学術院教授

- 議事要旨（委員の主な意見等）  
懇談テーマ 「イノベーション創出に向けた環境整備」について

---

懇談会の冒頭、戸堂委員より、懇談テーマに関する提案をいただいた後、出席者間で意見交換を行った。

### **委員提案の概要**

イノベーションの創出やクラスター形成を図る上では、多様な者とのつながり支援が有効である。とりわけ、地域内での強いつながりに加え、地域外とのゆるやかなつながりを持つことが、イノベーションを推進する。

### **意見交換での主な意見**

- 高度な産業の発展には、多様な企業が集積し、それらが互いに連携することが重要である。
- ネットワーク形成には外部性があり、県の施策は必要である。海外展示会などは有効であり、企業は参加することで、自社の立ち位置を認識し、産産連携が進む。
- 広島に来ることで産学連携などの魅力があり、やっていると踏めば、研究開発センターの誘致は可能である。
- 広島の企業が普段、東京とつながることができないことを考えれば、イノベーション・トークで東京のベンチャー企業を連れてくるような取組はよいと思う。
- 地域内の強いつながりは広島に既にあるため、必要なのは県外とのつながりである。
- 地域内のつながりが強いことはよいことだが、つながりが強すぎると外から入りにくくなり、Iターンも起こらなくなる。
- 東京の企業で海外経験がある方やシニアの方など、Uターンした方とのつながりも重要である。